



# K中通信

学校だより12号  
令和4年3月17日  
横浜市立軽井沢中学校

【学校教育目標】『主体的に考え行動し、未来を切り拓く生徒の育成をめざします』

- 様々な関わりを通し、よりよく解決する力を育てます（知・徳・公）
- 持続可能な社会の実現を目指し、しなやかに生きる力を育てます（体・開）

学校ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/karuizawa/>

去る3月7日（月）に創立60周年記念式典を開催いたしました。また、3月9日（水）には令和3年度 横浜市立軽井沢中学校 第60回卒業証書授与式が挙行されました。みなさまのご協力によりつつがなく実施できたことを御礼申し上げます。

式典での「実行委員長挨拶」、卒業証書授与式での「学校長のことば」「生徒代表 門出のことば」をご紹介します。第12号のK中通信とします。1年間、お世話になりました。

## ○横浜市立軽井沢中学校創立六十周年記念事業実行委員会委員長挨拶

本校創立六十周年、まことにおめでとうございます。

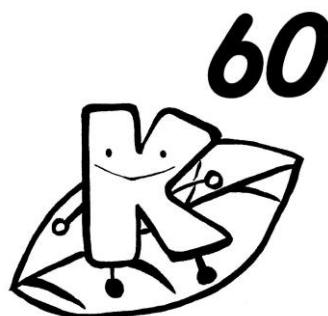
節目の時にあたり、記念事業実行委員会を代表いたしましてご挨拶申し上げます。

六十といえば、人間の歳にすると満六十歳、「還暦」を迎えたこととなります。「還暦」は古来より長寿のお祝いをする節目とされてきました。

本校は、一九五八年八月岡野中学校の分教場として産声を上げ、一九六二年五月に軽井沢中学校として分離独立し、今日に至っております。この間、歴代の教職員の皆さま方、在校生の皆さま方をはじめとするたゆみないご努力により、本校の伝統が築かれてきたことは、その生い立ちが物語っています。

さて、皆さまもご存知のとおり、この記念式典も当初は昨年十月に挙行される予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本日まで延期されてきました。残念ながら、日ごろお世話になっている地域の方々などをお招きしての式典開催は断念せざるをえませんでした。しかし、歴史に記憶されるべきこの二年間、私たちは、行動が制限される中で「工夫する」ことを学びました。まだ十分とは言えないかも知れませんが、その工夫は私たちの未来を切り拓く力になると信じます。十年後、満七十歳、本校が「古希」を迎える日が楽しみです。

本日、お招きできませんでした地域の皆さまには、本校のより一層の充実・発展のため、引き続きお力添えいただきますようお願いいたします。また、この困難の中、学校運営にご尽力いただいた教職員の皆さま、記念事業の一環としてお忙しい中ご講演いただいた栗原清剛(きよたか)様、数々ご奔走いただいた記念事業実行委員の皆さまには、この場をお借りして、厚くお礼申し上げます。



2022年3月7日  
実行委員長 鈴木重信